

経済的要因が 上京学生の U ターン就職意向に与える影響

石田みのり

本研究の目的は、上京学生の U ターン就職に対する意識と、その選択に影響を与える要因について、特に経済的要因に着目して明らかにすることである。

調査方法としては、アンケート調査およびヒアリング調査の二つを用いた。アンケート調査は、地方出身の大東文化大学社会学部生を対象に、Google Forms を用いて約 1 カ月間実施した。また、ヒアリング調査は、地方出身の大東文化大学社会学部 4 年生を対象に、対面形式で一人約 20 分間行った。

分析の結果、上京学生は経済状況に関わらず、自身の希望する就職地を選択する傾向がみられた。特に、多くの学生が地元に戻る選択をせず、首都圏での就職を希望していることが明らかとなった。

以上の結果から、上京学生の就職地選択においては、経済的要因よりも心理的要因が優位となることが示唆され、本研究は U ターン就職に関する学生の意思決定を理解する上で一定の意義を持つといえる。